新潟食料農業大学の様々な活動を「社会連携＝醸す」の切り口から発信する情報紙

KaMoSu カモす

NO.10

棚田でしか出会えない「学び」と「感動」

「みんなで守ろう、にいがたの棚田」

棚田は、おいしいお米を育てるだけでなく、美しい景観や災害防止、生き物のすみかとして、自然環境を守る役割も担っています。しかし今、人口減少や高齢化により担い手が減り、その力が十分に発揮されなくなってきています。本学は、こうした課題に向き合う新潟県の「棚田みらい応援団」に、2023年度から参加しています。

～参加学生エピソード～

気づいたら…「7回」行ってた。

田植え、水路の管理、稲刈り――
大学でも経験はありましたが、ここでの**達成感はまるで別物**でした。
地域の方と声をかけ合いながら作業を進める中で、自然と連帯感が生まれます。
作業後には、地域の代表・比護さんの奥様がふるまってくれる**山菜料理も楽しみ**のひとつ。普段味わえない貴重な食材と、あたたかい会話が何よりのごちそうです。
糸魚川の地形や棚田の成り立ちについて聞くたびに、知識だけでなく想いまで受け取ることができました。
地元のご家庭に泊まらせていただくこともあり、**「よそから来た自分」から「一緒に守る仲間」**へと、自然と気持ちが変わっていきました。

大学生活思い出ランキング
1位

食料産業学部食料産業学科
アグリコース4年
野口　慎之助さん
（栃木県立小山高校出身）

棚田が好きになった。だから、未来につなげたい。

棚田みらい応援団の魅力、ズバリ！**「棚田」が最高！**
自然の力、肌でダイレクトに感じられる！
あの景色、あの空気。棚田って、**パワースポット！**
大学卒業後も通い続けたい――。
心が洗われる風景が、そこにある。

「棚田で、自分が変わった。」

人見知りな僕がクッキーを焼く日が来るなんて…。

地域の方がご馳走をふるまってくれた、その中で出会った、「くるみクッキー」。そのレシピを聞いて、自宅で再現して地域の方に持って行ったことも！
コミュニケーションが苦手だった学生が、少し苦手を克服！という経験も。